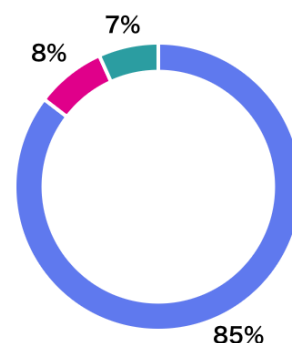


<運営面に関わって>

【開催形態について】

● 次年度以降も、現地開催とオンラインのハイブリット型がよい。	76
● 次年度以降は、コロナ禍以前のように会場に集まって開催がよい。	7
● その他	6



- ・その他…通信環境が改善されるなら今年度通りで良い。全員オンラインで良い。
- ・公共の場での実施はメリットもあるが、開場から開会までの時間が短くなってしまうので前日準備をするか、もう少し余裕をみて開始時刻を設定したい。

- ・来年度もハイブリット開催を望んでいる方が多いが通信の改善が必要。(開催場所の検討)
- ・前日準備もしくはテストを行う。今年度は通信テストを行おうにも場所的に制約があり、難しかった。(今年度も部屋の外でテストを行ったが、本番では上手くいかなかった。)
- ・準備やテストは、希望であれば発表者も含めて行う。(希望しなければ、発表者の集合時刻を早める)
- ・現地での体験プログラムや準備等は、関市の先生や美濃地区の先生方でやっていただけて本当にありがたかった。今後も担当地区の先生方と協力していきたい。

【オンライン配信について】

△映像、音声共に質が悪すぎて、まともに視聴できる状態ではない。内容が全く分からない。来年以降も同じような開催方法であるならば、通信環境の整備徹底をお願いしたい。改善が難しいならば集合型に戻すことも考えるべきだと感じた。

△オンラインの参加では、全体会の会場での講話やお話が聞き取りづらかった。ハイブリッド開催の時は、タブレットを講話される方の近くにおいていただき、プレゼン資料はオンラインの方向けに配信もあるとよいと思う。

△ハイブリットで良いが、分科会を全てオンラインで配信するのは負担が大きい。業者を雇うかブレイクアウトの数を減らしたい。

- ・発表中の画面は資料を共有し、タブレット用のマイクを使用する。もしくは、発表者の端末を **ipad** で統一し、配信しながら発表する。
- ・全体会については、通信環境の良い場所であれば今まで通りで良いのではないかと。

【発表者について】

- ・研究員ではない方も発表希望者がいらっしゃれば、募ってはどうかと思います。中理研もそうしていたかと思っています。

△発表を依頼する際、その年に突然依頼するのではなく、受ける側も準備ができるように見通しと計画的に依頼していただきたいです。

【その他について】

- ・発表者の資料だけでなく、全体会の資料もダウンロード出来るとよい。
- ・小学校と中学校の合同開催を模索してほしい。